

令和 2 年度

近江八幡市

まちづくり団体育成支援補助金

採択団体活動の紹介



この補助金は近江八幡市から業務委託を受け、ハートランド推進財団が相談・助言・募集・活動支援・活動報告などを担っています。

近江八幡市内で自発的にまちの課題に取り組む団体及び新たに課題に取り組む予定の市民の活動を活性化させるため、その活動に対し補助金が交付されます。

「まちづくり団体」とは、市民がまちの課題に対して、自主的及び自発的に行う非営利の活動で不特定多数の人たちのためになる活動をするグループ等です。

補助対象団体

- 活動の拠点が近江八幡市内にあること
又はその活動が主に市内で行われていること。
- 5人以上の市民で構成された団体であること。
- 申請時に定款・規約・会則等を有していること。
- 公益の増進に寄与することを目的とする団体であること。
- 継続的な活動が期待できる団体であること。
- 活動のすべてが、特定の個人や団体の利益を目的としないこと。



一般財団法人ハートランド推進財団

補助金を受けた団体活動報告【令和2年度・23団体】

はちまん・あづちふるさとアカデミー

◆ あづち・はちまんふるさと検定

あづち・はちまんふるさと検定を立ち上げて、近江八幡のプライドづくりを市民に実感し顕彰していただくことを目指しています。

「京都検定」や「琵琶湖検定」などと同じ様に地域を知ってもらえる検定を実施していきます。

近江八幡市と安土町が合併し新しいまち「近江八幡」が誕生しました。それぞれに長い歴史と伝統に培われた文化・自然環境や、近江商人をはじめとする商



勉強会の様子

工業の町でもあり、それらを市民が学び、誇りを感じ、より豊かで活力あるまちづくりへの思いを新たに、伝えていく気持ちです。

市外の人には近江八幡ファンとして多く訪れてもらえることも期待しています。

「豪商西川甚五郎家・日牟礼八幡宮勉強会」「沙沙貴神社・浄厳院・旧伊庭家住宅勉強会」なども開催し、1回目のあづち・はちまんふるさと検定を令和3年10月17日に実施しました。

今後、子どもたちのためのカリキュラムも考えており、将来のふるさとを愛する市民が増えることを期待しています。



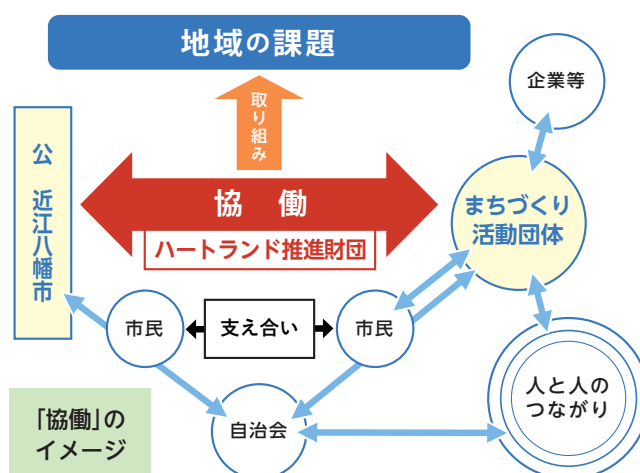
勉強会の様子

ハートランド推進財団とは

ハートランドとは「こころのふるさと」という意味です。何げないこの言葉の中には、近江八幡の市民によるまちづくり活動の、長い試行錯誤の歴史と深い思いが込められています。

ハートランド推進財団は、近江八幡市をとりまく地域において、市民の自発的な参画と協力によるさまざまなまちづくり活動の相談・情報提供・その他機器貸出しや団体紹介などで積極的に支援し、市民のまちづくりへの創意と共感を呼び起こして、活力と個性にあふれた地域社会の実現に寄与することを目的にしています。

令和時代は、少子高齢化が加速化し地域の問題(困った)を「公助」(国・県・市等の行政機関等が対応する)だけでは対応できなくなってきます。「自助」(自分のできる)のできない人等には、「共助」(公助に替わり自分たちでお互いに助け合う。支え合う)の仕組みづくりによって活力と個性にあふれた住みよい地域社会の実現が必要と考えています。



この「共助」には、最低限の行政からの協力というカタチで『協働』を推進することになります。

『協働』とは、上記のようなイメージです。

ハートランド推進財団は市民による、市民のための、市民のまちづくり法人として、「協働」を推進するまちづくり活動団体を支援していきます。

チームむべなるかな

◆ 里山探索会並びに琵琶湖水草・水鳥観察会

過去25年間の自然観察などの活動を経て、変わりゆく自然の保全保護の必要性を感じていたため、特に青少年の自然環境に対する理解と郷土愛の育成を目的として活動を継続的に展開しています。

琵琶湖水草・水鳥観察会や里山の散策を通じて自然の観察とともに湖沼とその周辺の賢明な活用を促し、その必要性と効果を深めていきたいと活動しています。

「水草観察会」は7月下旬～8月の毎週土・日曜日開催。

「水鳥観察会」は12月下旬～3月上旬の毎週土・日曜日開催。



水鳥観察会



里山歩き

「むべなるかな山登り」は奥島の山に親しんでもらいたいと開催。

このため、里山の遊歩道の整備と安全確保のために下見以外にも随時実施しています。

潜水して湖底に繁茂している水草調査も琵琶湖の環境とともに観察会の中で参加者に伝えています。

今後も、里山遊歩道の整備を推進し、市域市民の郷土愛(ふるさとを慈しみ誇りを持つ)を育むとともに、健康保持活動として年間を通した実施計画を立て、子どもから高齢者まで広く住民に定着化を図ります。

滋賀県八幡食品衛生協会

◆ リモートによる手洗い指導

新型コロナウイルス感染症の影響により、今まで10年以上継続して実施してきた、園児への手洗い指導の訪問ができなくなってきました。

そこで、リモートによって子どもたちに正しい手洗い方法を指導し、手洗い確認キットを貸出して洗い残しを直接自分の目で確認し正しい手洗いを理解してもらうようにしました。

手洗いチェッカーを増やすことができたので、紙芝居や手洗い方法を収録したDVDを貸出し、訪問することなく多くの子どもたちに手洗いの大切さを伝えることができました。



令和3年3月16日には、安土保育園において保育士さんが実施する手洗い指導のサポートを行い、その後園児46名にDVDによる手洗い方法を鑑賞してもらいました。新型コロナウイルス感染症の予防にも正しい手洗いが出来ていないことを保育士さん、保護者さんにも理解していただけたと思っています。

ひとつぶてんとう園

◆ 自然を教室のフリースクール

八幡山を中心とした地域の自然などを教室とする環境学習と、座学による学びを週3日実施しています。

特に、学びの時間(座学)を増やして知識を拡げています。

八幡山、西の湖、琵琶湖、八幡堀などの野外の活動で自然や地域をフィールドに使いながら、自分の頭で考えて選択していく、環境学習実践を行っています。

子ども会議では、異年齢の子どもと一緒に自分の思うこと、やりたいことをそのまま話す時間を設けてコミュニケーション力を持てることを目指しています。

また、博物館や美術展の見学も実施するなど、地域の学びの場の活用はユニークで子どもたちの感性を育くめていると思います。

現在、不登校や引きこもりが増加傾向にあるようですが、その要因のひとつとして学校や社会で「自分



すいか割り

の思いをそのまま言葉として出せる環境」があまりなく、自己肯定感を培える機会が少ないことだと考えています。

そのため、「自分で考えて選択していく」を実践し学んでいくチカラを養っています。

まずは自分の思いを発信することが生きるチカラとなり、そこから始まるコミュニケーションが人との関わりを豊かにできてきました。

最近は問い合わせも増えてきて、このような環境に興味を持つ保護者や、必要とする子どもが増えていると感じています。

八幡山歩き



室内での座学



安土手話サークル 絆

◆ 手話の学習及び普及啓発

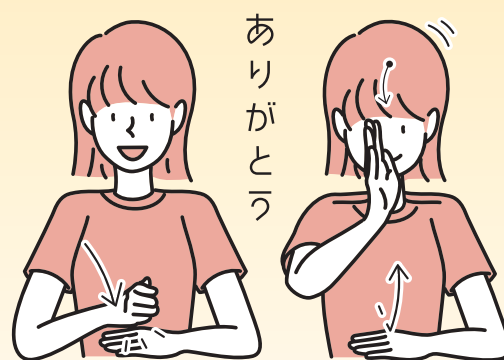
2017年1月1日より近江八幡市みんなの心で手をつなぐ手話言語条例が施行されております。

手話に対する理解や普及を促進し、聴覚障がい者の自立及び社会参加を目指して、長年に渡って安土小学校や安土幼稚園、福祉事業所などで出前講座等の活動をしています。

今回の補助金を活用させていただいて、「安土手話サークル 絆」のユニフォームを作成しました。

そのユニフォームを着用してボランティア活動することにより、市民の皆さんに手話サークルの存在を知ってもらい、手話の必要性の啓発にもつながってきていると思います。

新型コロナウイルス感染症のため現在は出前講座の依頼がありませんが、毎週火・木曜日の定例活動は、



地域の感染状況を確認し、感染予防対策をとりながらできる範囲で活動してきました。

新型コロナウイルス感染症が収束した後は、例年通り手話の出前講座や各種イベントが再開されますので、その機会に作成したユニフォームを着用して活動することにより、「手話サークル 絆」をアピールし、継続的に手話の必要性を啓発していきます。

みんなの小屋PUMPの会

◆ 誰もが笑顔で過ごせる毎日を大切に

近江八幡市船木町の八幡堀沿いに昔からあるポンプ小屋を、市民の憩いの場として活用したいと「みんなの小屋PUMPの会」を立ち上げて活動することになりました。

地域に生活する様々な年齢や障がいのあるなしに関わらず全ての住民の交流を通じて、子どもの健全育成や高齢者の活躍交流の場を提供して、笑顔の生まれる場となり、地域共生型社会の増進を図ってこうとしています。

有志やシニアボランティアの皆さんが改装作業などに関わってくださり、持続可能で大切な場所に生まれ変わりました。

トイレ、台所を設けられたので、子どもたちのイベントの場として活用しています。目指していたシニアボランティアさんと子どもたちの交流の場として大いに役立つことができました。

カヌーのグループ「ポレポレ」さんにも、八幡堀でのカヌーの基地として役立つことができ「親子カヌー教

室」も人気になっています。

また、フリースクール「ひとつぶてんとう園」にも不定期で教室として利用もしてもらっています。

小学校の通学の見守り、声掛け、そして気軽に交流できる場所として役立ててもらいます。

ポンプ小屋前で



NPO法人 ほんわかハート

◆ 夫婦コミュニケーション術

夫婦がより良く、普段の生活、子育てができるように、どのようにコミュニケーションをとっていくか。今の現状を夫婦で改めて考え改善するところはあるか、など気づきの場を提供しています。



夫婦で内容を共有

夫・妻、それぞれを別室でポストイットに「言葉」「会話」のテーマに沿って書き出します。

- ①どんな時に話を聞いて欲しい？／聞きたくない？
- ②どんな時にありがとうと言う？／言ってほしい？



テーマに沿っての書き出し

その後、夫婦が同じ部屋に集まって、夫・妻のポストイットを共有し、講師(臨床心理士)の先生の講義を聞き、参加者一人ずつ感想を述べるワークを実施しています。

このワークショップの中で、夫婦で同じことを思っているとか、ここは違うとかを認識し、他者の意見などあまり聞く機会がないので良い経験になったようです。

これからの夫婦のコミュニケーションの取り方を変えるべきところに気づき、良いコミュニケーションをとっていきたいという参加者の意思も感じました。

近江八幡 RAKUICHI 実行委員会

◆ 近江八幡市旧市街地の活性化

近江八幡市は、県内の観光入れ込み客数4年連続トップの「ラコリーナ」をはじめ、八幡堀や日牟禮八幡宮など多くの観光客が訪れています。

しかし、伝建築地区やヴォーリズ建築など文化財が点在する「旧市街地エリア」に訪れる人は決して多くありません。

そこで、近年新しい商業施設が増えつつある「あきんど道商店街」を基点に、商店主や市民など多様な人たちと帯し、歩きたくなる城下町・近江八幡を目指しその活性化に取り組むことになりました。そのために街の統一感を演出する「町並み整備事業」として、八幡堀から伝建築地区や商店が立ち並ぶ旧市街地エリアに街頭フラッグを吊るして、来訪者を誘導するようにしました。

また、「賑わい創出事業」として手づくりマルシェ RAKUICHI や「情報発信事業」にも取り組んでいます。



〈京都新聞より〉

安八いちまる会

◆ 八幡公園 ドウダンツツジ植樹事業

安八いちまる会は25名で発足しましたが、毎年レイカディア大学の卒業生が多数入会していただき、今では55名の会員となりました。今後も月1回～2回の活動を継続していける体制はできています。

平成24年から八幡公園の雑草に覆われたツツジ、サツキの植栽を整備し、剪定を行っています。

その成果として、現在の八幡公園は春先から初夏までツツジ、サツキ、紫陽花等の花を楽しんでもらえるようになりました。

しかし、まだまだ雑草の繁殖した傾斜地があったので今回、補助金を活用してドウダンツツジを植樹しました。



八幡公園での作業風景



植樹後は定期的の下草や雑草を除去し、ドウダンツツジの維持管理を行っています。

雑草の生い茂る傾斜地の放置されていた倒木も可能な範囲で除去されたので、傾斜地が公園の一角として見通せるようになり、ドウダンツツジの開花期には公園全体の花の鑑賞が出来、秋にはドウダンツツジの紅葉も期待しています。

これからの課題としては、機械や道具に頼る部分も増えてくるので、新たな助成金なども活用していきたいです。

今後も植栽地の管理を続けながら、市民の憩いの公園として八幡公園を花の名所として復活させていきたいと思っています。



記事紹介以外の採択団体一覧

補助金名	採択団体名	活動目的・内容
創業補助	ゆっくぶっく	図書館の不要となった本などを有効活用
	甲冑隊あづち信長まつり衆	甲冑を市民で手づくりし、イベントに出演し活性化を目指す
	ふおるすりーる	古民家で不登校の子どもたちの居場所とフリースクール
	NPO法人 ねっとわーく西の湖	西の湖を知ってもらい、好きになってもらい景観保全担手に
しっかり活動 運営補助	発達障がいと知的障がいのある人の 疑似体験型啓発キャラバン隊「花bee」	眼に見えない障がいを理解してもらう疑似体験講座開く
	NPO法人 Moms fun	行き場のない親子など誰でも集える子育て応援カフェなど
	自分探しをサポートする会 (元・キャリア教育を考える会)	小学生パティシエが開くスイーツカフェで仕事体験
	Hug Baby 近江八幡	親子触れ合い活動を通じ、子育て世代が多くの世代と交流図る
ジャンプアップ 運営補助	八幡調理師会	ふるさと料理を推進する動画で啓蒙
	NPO法人 秀次倶楽部	豊臣秀次公顕彰のDVD作成
	文化遺産としての松明を次世代へ贈る会	松明結の技術の継承者育成
	八幡山の景観を良くする会	八幡山城に関するパンフレット制作、縦走路に看板設置など
	NPO法人 安土城再建を夢見る会	信長、城下町安土、安土城の紹介する冊子作成など
	あきんど道商店街振興組合	商店街活性化として「LPジャケット改アート展」企画実施

★まちづくり活動に関するいろいろな相談を受け付けています。(要予約)

各団体のお問い合わせは
(一財)ハートランド推進財団まで



一般財団法人
ハートランド推進財団

〒523-0864
近江八幡市為心町元9 白雲館内

TEL **0748-33-5510**

URL <http://www.zc.ztv.ne.jp/heart/>

Mail chukan@npo-omi8man.com

事業内容

- まちづくり活動の支援および助成事業
- 近江八幡市のまちづくり団体育成支援補助金
- まちづくりについての交流催事の支援および開催事業
- まちづくり活動を推進するための人材育成および意識啓発事業
- まちづくりに関する情報の収集事業、編集および提供事業
- まちづくりに関する調査および研究事業
- まちづくりに関する地方公共団体からの受託事業
- その他、当財団の目的を達成するために必要な事業

主な活動内容

- 「八幡塾」の開催
- 市史学習会・まちづくりサロン等の開催
- その他講座・講演会・シンポジウム等の開催
- 情報紙の発行 ●出版
- 市民のまちづくり活動に対する相談・情報提供・支援
- まちづくり団体等への助成・協力・後援など
- 視察等への対応